

# 南会津 のうりんニュース



## 今月の写真:「尾瀬」(檜枝岐村)

“芽吹く”この季節、初夏の訪れを知らせる新緑が、南会津の山々に萌え始めてきました。

この写真は、尾瀬の水芭蕉です。今年は大雪の影響もあるでしょうが、6月初旬の頃には、登山者の目を楽しませてくれそうです。

## 今月の内容:

- 今月のトピックス
  - ・南会津地方水田農業改革推進本部会議を開催!
  - ・移動農林事務所を開設しました

ほか

- 農林事務所からのお知らせ  
“森林”づくりボランティア参加者募集
- この人を知りたい  
田島町 長原忠義さん
- 特集  
平成17年度普及指導計画
- 今月のコラム  
「初めての会津」から「大好きな会津」へ

平成17年5月10日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス

### 南会津地方水田農業改革 推進本部会議を開催!



**米** 政策改革も2年目を迎え、「消費者重視・市場重視の米づくり」の観点から、米の生産・流通体制の強化や消費拡大対策、地域農業の再構築等の改革に、より一層取り組むため、「南会津地方水田農業改革推進本部会議」を4月14日に、田島町の御蔵入交流館で開催しました。

会議では、水田農業改革アクションプログラムの目標達成に向け、

- ① 特別栽培やエコファーマーによる栽培など環境にやさしい米づくりの推進
- ② 生産組織の育成強化による水稻直播栽培の推進
- ③ トマト・アスパラガス・リンドウ・カスミソウ等を中心と

した野菜・花きの作付拡大

- ④ 地産地消を核とした生産組織・団地化による大豆の作付拡大
- ⑤ 認定農業者の育成とこれら意欲ある担い手への農用地利用集積

の5つを南会津地域の重点項目として推進し、積極的に取り組むことが確認されました。

重点項目の一つである、環境にやさしい米づくりについては、南会津では初めての水稻エコファーマーが本年4月に認定を受けた(館岩村11名・1団体、只見町1名、計面積35ha)ところであり、南会津地方でもその取り組みが少しずつ動きだしております。

今後多くの農業者の取り組みが期待されます。

(農業振興部)

### 移動農林事務所を開設しました

4月14日の下郷町を皮切りに、管内の各町村を訪ねる「移動農林事務所」を実施しました。

移動農林事務所は、平成13年度からスタートした「うつくしま農業・農村振興プラン21 南会津地方計画」を達成するため、各町村と南会津農林事務所との間で、農林行政の課題・農林業の振興方策等について幅広く自由な意見交換を行うことを目的として開設したもの



(2ページに続く)

(1ページから続く)

です。

「移動農林事務所」は今年で5回目となりましたが、本年度は南会津地方振興局も参加し、地域振興において各町村が直面している緊急的な課題などについても話し合われるなど、各町村とも有意義な意見交換がなされました。

この「移動農林事務所」を契機として、より町村と密接に連携した事業を展開し、南会津地方の一層の地域振興を図りたいと考えています。

(地域農林企画室)

## ～小さな火 山に捨てると

## 大きな火～

南 会津地区山火事防止協議会主催による山火事予防パレードが4月16日に東部地区(田島町、下郷町)、23日に西部地区(館岩村、檜枝岐村、伊南村、南郷村、只見町)で実施されました。

パレードは広域消防本部、会津森林管理署、会津森林管理署南会津支署、町村、森林組合、東北電力、電源開発、南会津地方振興局及び南会津農林事務所の職員等が、山火事防止標語入り花の種や携帯灰皿を配りながら山火事予防を呼びかけました。



山火事防止をお願いします!

山火事の原因には、たばこの火の不始末、火入れ、たき火からの延焼などがあげられ、そのほとんどは人の不注意によるものです。

もう一度日々の行動を振り返り、ハイカーや釣り人に呼びかけるなど山火事を起こさないよう地域ぐるみで注意しましょう。(森林林業部)



## 地域ビジネスを支援する

## 事業説明会を開催

去 4月26日に、田島町御蔵入交流館で地域ビジネスを支援する事業説明会を開催しました。

当日は、農産加工を目指す方々や町村・関係機関・団体の職員などから約30名が参加しました。

この説明会は、個人・法人・組合・団体(グループ)が地域資源等を活用してビジネスを展開していく際に、最もふさわしい事業の選択ができるよう、国(厚生労働省)、県(南会津地方振興局・南会津農林事務所)合同で、起業や販路拡大等に関して支援可能な事業等の説明及び意見交換会をしたものです。

意見交換会では、事業内容についての質問や「事業を活用して頑張りたい」などの意欲あふれる意見もありました。

この説明会をきっかけに、一人でも多くの方が事業を活用され、更なる地域振興が図られることが望まれます。

(地域農林企画室、農業振興部、農業普及部)



### 農林事務所からお知らせ

～木を植えて 一人ひとりが たいせつに～

## もり “森林”づくりボランティア参加者募集

「南会津地方森林組合職員連絡協議会」では、「森林」づくりボランティアを募集しています。

この森林づくりは、平成7年南会津地方植樹祭で入選された、南郷第二小学校 馬場順也さんの記念標語「木を植えて 一人ひとりが たいせつに」を事業名として、当時記念植樹されたスギの木を手入れ(除伐・雪起こしなど)するものです。

日 時：平成17年5月28日(土) 10:00から15:30

集合時間及び場所：10:00 南郷村役場前駐車場

現 地：南郷村駒止山国有林地内

注 意 事 項：現地へは南郷村役場前駐車場よりバスにて移動する。用具は不要ですが、服装は森林づくり作業の出来るもの。昼食は各自で準備する。

そ の 他：現地では山菜取りなども楽しめる

申 し 込 み 等：5月20日までに住所・氏名・生年月日・電話番号を明記し、郵送かFAX又は電話で下記事務局まで。問い合わせも同じ。

事務局 下郷町森林組合 星久男さん 電話0241-67-3310 FAX0241-67-4566

主催：南会津地方森林組合職員連絡協議会

## この人を知りたい

### “交流”を大切にしています

(田島町 長原忠義さん)

シリーズ「この人を知りたい」。今回は、田島町の長原忠義さんを紹介します。

長原さんはNPO法人南会津グリーンストッククラブ(平成8年発足 現会長:星 義夫氏)の理事として活躍しています。

グリーンストッククラブの活動は南会津の新しい職の創出・都市との相互交流の構築を目標としたもので、自転車と鉄道を組合わせた「トレイン&バイク」や山村振興を含めた「冒険キャンプ」といった野外教育活動など、地域活性化のための事業を実施しています。

長原さんは平成11年に田島町に移住。このとき自宅の建設を任せられたログハウス制作会社の方と懇意になったのを契機とし、クラブに参加しました。また前職での経験を見込まれて経理を担当、各種イベントの運営スタッフとしても中心的な役割を担っています。積極的に“外”に出るタイプの長原さんにとって、まさにグリーンストッククラブの活動は、理想と合致するものがあつたようです。

そもそも横浜市出身である長原さんがIターン者として南会津に移り住んだのは、まず奥様が新聞の



自宅のログハウスの前にて

紹介記事で、ログハウスや自然環境に興味を持ったのがきっかけです。長原さん自身は自然環境の良さもさることながら、自宅の土地が購入ではなく貸借契約であったため地主さんとも顔の見える付き合いができ、そこから地元の人とも交流が広がることや、首都圏に近いことなど移り住む条件が揃っていたため、田島町の針生地区に移り住むことを決心したそうです。前職での苦労話のとき、心身ともに疲れたことが実はあつたと打ち明ける長原さん。しかし、自宅の本棚など現在は木工工作に励んでいると語るさまは、生き生きとして、充実した生活を送っていることをうかがわせました。

取材の合間「まあ、ボケ防止にいろいろ活動してるんですよ」と何度かさりと笑いながらも、奥にエネルギーで若々しさを秘めた眼差しが印象に残りました。これからもまだまだその行動力で地域を盛り立ててくれることでしょう。

(地域農林企画室)

## ★ 特集!

## 平成17年度普及指導計画

農業普及部は、平成17年度より新たな普及計画に基づき活動を展開します。計画は、「水田農業改革アクションプログラム」の具現化等が最重点に位置づけられ、南会津農林事務所においては農業・農村の活性化・発展のために5つの課題を設定しました。

今回、その概要をお知らせすると共に、皆様の御支援・御協力をよろしくお願い致します。

### 1 管内農業・農村の現状

- (1) 農家戸数は毎年減少し高齢化が進み、また、就農者の約6割を女性が担っている。しかし、平成16年度の新規就農者は7名で増加傾向にある。
- (2) 平成15年度の農業産出額は、前年を2億円上回る54億円で、この内米が26.9億円、野菜が12.5億円、花きは4.7億円と園芸作物が全体の約4割を占めている。

稲作の省力・低コスト化を図る「直播栽培」や、環境にやさしい栽培の導入など新たな生産方式が増えつつある。

### 2 普及指導活動課題【担当主任者名】

- (1) 水田を活用した農業の活性化(水田農業改革アクションプログラム関連)【吉田課長】

水田農業改革アクションプログラムの目標実現に向け、消費動向に即した売れる米づくりと転作田を有効活用した大豆や園芸作物等の生産拡大、水稻直播栽培の普及拡大を推進する。また、認定農業者等意欲ある担い手への農用地利用集積等による経営規模拡大、生産の組織化等を推進し集落営農及び集落営農組織の活性化を支援する。

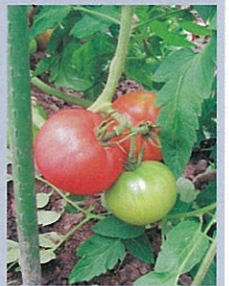
- (2) 農業・農村を担う経営感覚に優れた担い手の育成【飯塚主任主査】

認定農業者等に対し高度な技術・経営の支援を行い、意欲ある農業者の育成を図ると共に、次代を担う新規就農者や青年農業者の確保・育成を関係団体等と連携のもとに進める。さらに、女性農業者の能力発揮と経営への積極的参加を進めるため、家族経営協定の締結や起業的活動を推進する。

- (3) 環境と調和した持続性の高い農業の推進【本宮課長】

有機性資源の循環利用と化学肥料や化学農薬の使用低減を推進し、環境に調和した持続性の高い農業の推進を図るとともに、適正な農業・肥料の使用指導を行う。

(4ページに続く)



(3ページから続く)

#### (4) 中山間地域の特色を生かした農業と農村の振興【星主査】

夏季冷涼な気象条件を生かしたそば等の生産拡大を推進し、特産産地の育成強化を図る。また、夏秋トマト産地におけるUIターンの新規栽培者の早期技術習得を促進し、産地の安定・強化を図る。さらに、中山間地域等直接支払い制度等を活用した継続的な農業生産活動による多面的機能の維持向上を促進すると共に、地域の条件を生かした直売やグリーンツーリズム等のアグリビジネスを推進する。

#### (5) 園芸産地づくりの推進【伊東主査】

南会津地方の気象条件を活かし産地形成されているトマト、アスパラガス、リンドウ、宿根カスミソウ、カラー等を中心に産地拡大を図り、また、県オリジナル品種等の優良品種導入や施設及び高度な新技術の導入拡大を図り、さらに集出荷施設の高度利用や多様な流通販路の形成・強化を推進し、南会津の全域園芸産地化を図る。



### 3 普及指導体制

平成17年度、組織改正により地域農業推進グループと経営支援グループが設置されました。

地域農業推進グループ(旧普及企画グループ)は、集落営農の推進、中山間地域の農業の推進等を担当します。

経営支援グループ(旧技術経営グループ)は認定農業者、新規就農者等の担い手の育成確保、地域の特性を生かした作物の産地化、環境にやさしい農業等を担当します。

星農業普及部長以下12名の体制で頑張りますので、よろしくお願いします。

(農業普及部)

## 今月のコラム

## 「初めての会津」から「大好きな会津」へ

**早**いものでもう一年。会津で二度目の桜、そして新緑の季節を迎えることとなりました。

思えば去年の4月、初めての南会津地方勤務と同時に、家族揃ってこれまた初めての会津若松市での生活を開始しました。いろいろ不安はありましたが、何もかもが新鮮であったせいか、あっという間に一年が過ぎてしまったような気がします。

家族揃っての転居を決めるにあたり、一番心配だったのがやはり子どもたちのことでした。当初、なんとなく暗い表情と見ては、「いろんなところに住むことなんてそうそうできることではないんだから、将来、いい思い出になるように頑張ろう。」なんて、カッコよく励ましていたつもりでしたが、しかし、これがまったく見当違いでした。なんと、一番早く慣れたのは子供たちの方だったようで、ホットひと安心。結局、励まされていたのは親の方だったのかもしれない。今では、元気に遊び、ちょっとだけ(?)学び、そしてさらに元気に部活に励んでの生活パターンがすっかり定着したようで、「元気が一番!」と



互いに顔を見合わせながら呆れるばかりのバカ親二人です。

ところで、私とは言えば、田島町まで会津鉄道を利用して通勤することとしたのですが、結果的にこれが最高でした。朝、家を出るのが1時間ほど早くなったにもかかわらず、苦になるどころか、毎日が小旅行といった感じでワクワクものです。大川沿いをまるで綱渡りのように走る様は、スリルもさることながら景色も最高で、特にこれからの桜や新緑の季節、車窓からの眺めは格別です。もともと山間部育ちのせいか、それとも年齢のせいか、はたまた電車の席が空いているせいか、この景色の中で本を読んだり、音を聴いたり、夢を見たりの通勤はリラックスすることができ、本当に楽しみとなりました。以前も電車で通勤していましたが、こんな風感じたことはありませんでした。

といった具合で、「初めての会津」の生活にもすっかり溶け込み、今では「大好きな、居心地のよい会津」になったのは、我が家において私だけではないようです。

(企画部副部長 近内 保二)



### お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。  
この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。